



# D-AKIHABARA Temporary PRESS RELEASE

2005.07.22

## D-秋葉原テンポラリー

眠ってしまったあの場所がミュージアムに生まれ変わる!!

2005年9月6日(火)～10月23日(日)

会場:D-秋葉原テンポラリー(旧千代田区立練成中学校)

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14

D-AKIHABARA Temporary  
September 6, 2005 - October 23, 2005  
Temporary museum of contemporary design in Akihabara

[開館時間] 10:00-19:00(入館は18:30まで) [休館日]なし

[入場料] [共通券] 一般1300円(1000円)、学生1000円(800円)、中高校生・

65歳以上600円(400円)\* ( )内は20名以上の団体料金\*小学生以下および障害者の方は無料

[展覧会内容]

「ジャン・ブルーヴェ展/機械仕掛けのモダンデザイン」2005年9月6日(火)～2005年10月23日(日)

「スモール&ビューティフル:スイスデザインの現在」展2005年9月27日-10月23日(日)

「9坪ハウス展-こどもと暮らす9坪ハウス」2005年10月1日(土)～10月10日(月祝)



### ■開催趣旨

D-秋葉原実行委員会では、東京都、千代田区、秋葉原再開協議会、関連企業と協力関係を結び、産官学の連携のもとに秋葉原地区における国際的なデザイン拠点『D-秋葉原』を構想し、2006年春のオープンを目指して現在準備を進めております。秋葉原UDXビル内に「デザイン・ミュージアム秋葉原」(仮称)を設置することにより、日本発のクリエイティブビジネスの拠点を形成し、世界各国とのデザインコンテンツの流通をはかる方針です。また、秋葉原のブランディングを強化し、これまでの文化的要素と新しいデザイン産業とを融合させながら、観光拠点として世界に例のない都市型文化を発信することを目的としています。

この「デザインミュージアム秋葉原」のオープンに先駆けて、このたび秋葉原地区において廃校となった旧千代田区立練成中学校の校舎を期間限定のミュージアム『D-秋葉原テンポラリー』として、開催するはこびとなりました。都心部の小中学校の閉校が相次ぐ中、学校施設のコンバージョンとクリエイティブ活動を融合させることにより、地域に密着したクリエイティブ活動を行うためのひとつの可能性を指し示します。

D-秋葉原テンポラリーでは、9月6日から10月23日までの期間、学校教室を展示の場として活用し、複数のデザイン展覧会を同時開催いたします。



[主催] D-秋葉原実行委員会/慶應義塾大学デザイン・ミュージアム・ファクトリー・コンソーシアム 秋葉原再開協議会

[共催] ヴィトラ・デザイン・ミュージアム、プロ・ヘルヴェティア文化財団

[特別後援] 株式会社クロスフィールドマネジメント

[後援] 外務省(予定)、文化庁(予定)、国土交通省(予定)、千代田区、フランス大使館(予定)、スイス大使館、スイス政府観光局

[提携] セントラルイースト東京2005(CET05)2005年10月1日(土)～10日(月祝)<http://www.CentralEastTokyo.com>



## D-秋葉原テンポラリー プログラム概要

### ■ジャン・ブルーヴェ展／機械仕掛けのモダンデザイン 2005年9月6日(火)～10月23日(日)

徹底したものづくりの思想と精緻な技術から、世界中の多くの人々の関心を集めているフランス人のデザイナージャン・ブルーヴェ(1901-1984)の展覧会。世界各国を巡回する重要な国際展として企画された本展覧会では、昨年の神奈川県立近代美術館鎌倉館、今年8月のせんだいメディアテークでの展示に引き続き、ブルーヴェの「ものづくり」の思想を通じて、現代デザインのあるべきかたちについてのメッセージを発しつづけます。

### ■スモール&ビューティフル：スイス・デザインの現在 展 2005年9月27日(火)～10月23日(日)

スイスの国土は日本の1/9にすぎません。しかし1人当たりのGDPはヨーロッパでも最高水準を誇り、デザインと技術は世界のトップレベルにあります。秋葉原を始点に日本全国を巡回する予定の本展覧会では、『小さいながらも豊かな国』スイスに着目し、世界をリードする従来の伝統的なデザインとスイスのモダンデザインにせまります。

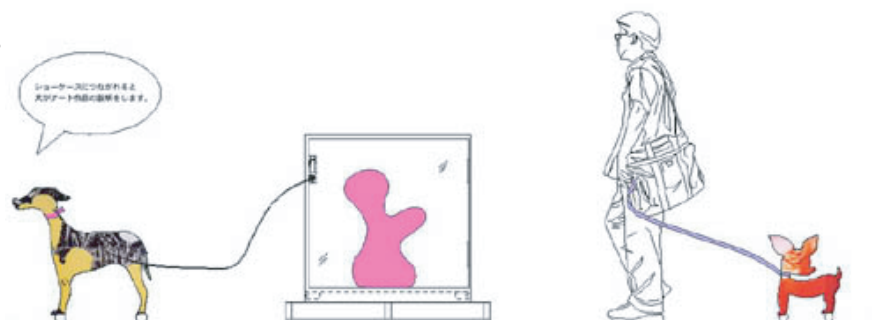
### ■9坪ハウス展 -こどもと暮らす9坪ハウス- 2005年10月1日(土)～10月10日(月祝)

2002年グッドデザイン賞建築部門金賞をはじめ、建築デザイン業界で常に注目を集める9坪ハウス。まったく新しいコンセプトで誕生してから現在までの歴史を振り返るとともに、新作『こどもと暮らす9坪ハウス』の発表を行います。かつてこどもだった我々大人たちと、いずれ大人になるこどもたちが共に『こどもと暮らす』に相応しい住宅について考えます。

>上記3展覧会は別途資料をご覧ください。

### ■モバイルミュージアム FIRST EXPERIMENT 2005年9月6日(火)～10月23日(日)

デザインとITとが融合した秋葉原ならではの新しい都市型文化の発信を目指すモバイルミュージアム企画の実験第1弾。プロトタイプとしての「アキバ犬」、  
「paper dog」のお披露目を行います。



### ■お問い合わせ

#### D-秋葉原実行委員会

慶應義塾大学(SFC)湘南藤沢キャンパス 三宅研究室  
〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤5322

TEL:080-6545-3612 FAX:0466-49-3516 E-mail:info@d-akihabara.jp

URL:http://www.d-akihabara.jp/ 代表:三宅理一